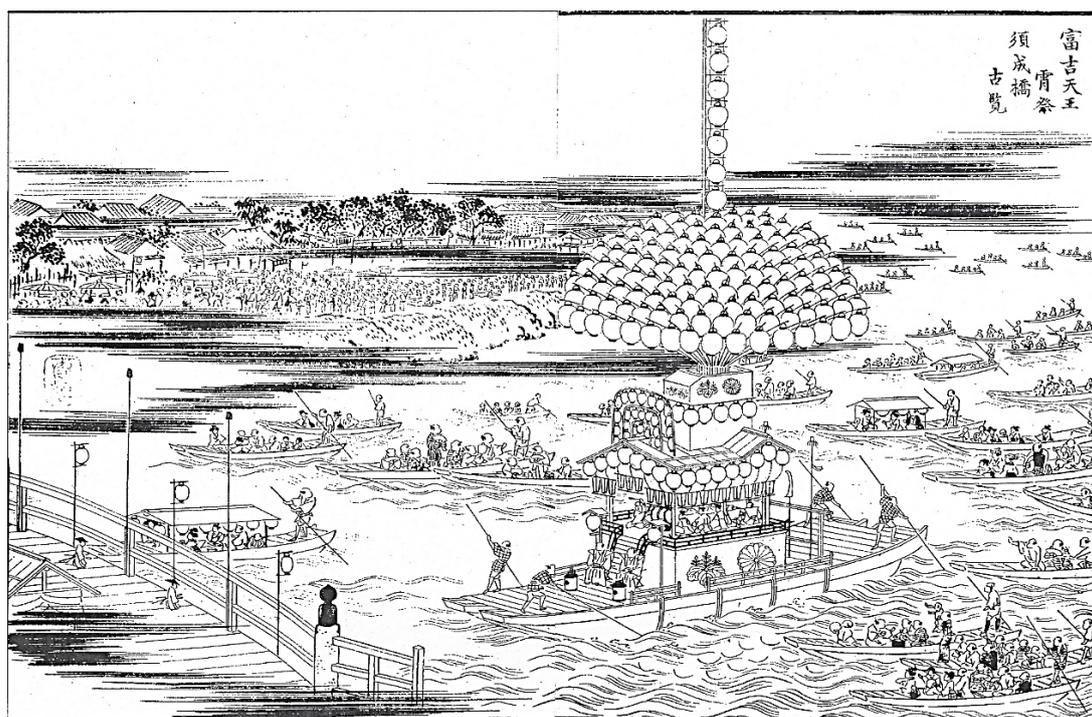


## 蟹江町歴史民俗資料館 おうちミュージアム 須成祭について学ぼう！



この写真は、ユネスコ無形文化遺産(むけいぶんかいさん)にもなっている「須成祭(すないまつり)」の宵祭(よいまつり)の写真です。須成祭は、蟹江町の須成地区で毎年8月はじめに川に船を浮かべて行われる川祭りです。写真や昔の絵などを見て須成祭について学んでみましょう。

(1) 次の絵は、今から約200年前に描かれた須成祭の宵祭の様子です。



- ① 写真を参考に色をぬってみよう。
- ② 色をぬいながら、今と昔とどこがちがうか、また、変わっていないところはどんなところが考えてみよう。
- ③ 船の前から後ろまでの大きさは、どれくらいあるのでしょうか  
ア 5メートル  
イ 10メートル  
ウ 15メートル
- ④ 船の一番上の柱についている提灯(ちょうちん)は12個あります。何をあらわしているのでしょうか。次の中からえらんでください。  
ア 十二支(ねずみ年、うし年などの、12のえと)  
イ 12ヵ月  
ウ 12の星座

(2)この写真は、須成祭の「朝祭(あさまつり)」の様子です。



須成祭では、8月最初の土曜日に行われる「宵祭」の次の日(日曜日)の朝に「朝祭」がおこなわれます。

朝祭の船では、ちょうちんをとりはずして、人形や紙でつくった花でかざられています。宵祭と朝祭の船のかざりはずいぶん違いますが、じつは、たった一晩で船のかざりつけをかえているのです。また、朝祭の船では、舞台の上に役者の人たちがすわっている様子がよく見えますね。

① 船にはどれくらいの人がついているでしょうか。次からえらんでください。

ア およそ25人    イ およそ50人    ウ およそ100人

② 朝祭の船の上にある人形には、どのような意味があるでしょうか。次からえらんでください。

ア お祭りに関わる神様

イ お祭りを始めた人をモデルにしている

ウ 長生きしたいという願いがこめられている



(3)これは、朝祭の次の日の朝に行われる「神葎流し(みよしながし)」という行事の写真で、水辺に生えるヨシという草で作った「みよし」を川へ流しています。



① なんのために「みよし」を川へ流すのでしょうか。次の中からえらんでください。

ア 魚などの恵みへの感謝をこめて川の神様へのおくいものとして流す

イ 川でおぼれた人を供養(くよう)するために流す

ウ 病気などの悪いものを「みよし」といっしょに川へ流して消すため

#### (4) 須成祭の歴史について

須成祭がいつから始まったのかは、はっきりしたことは分かりませんが、おそらく400年以上も昔から続けられてきたといわれています。昔からのお祭りが今日まで続いているなんて、とてもすごいことですね。

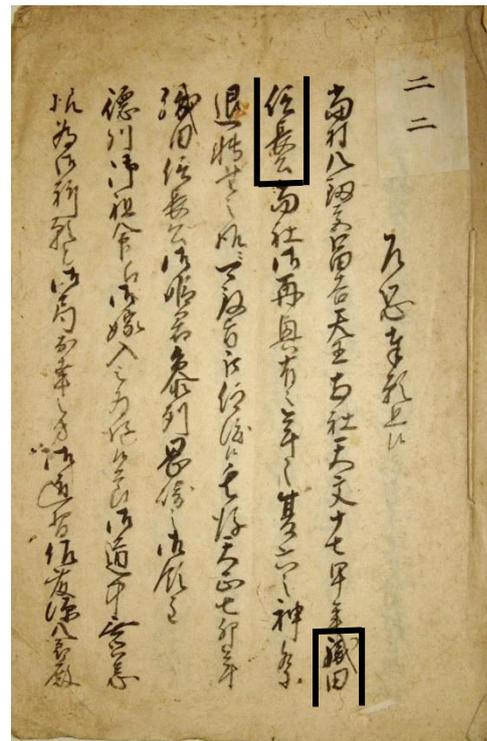
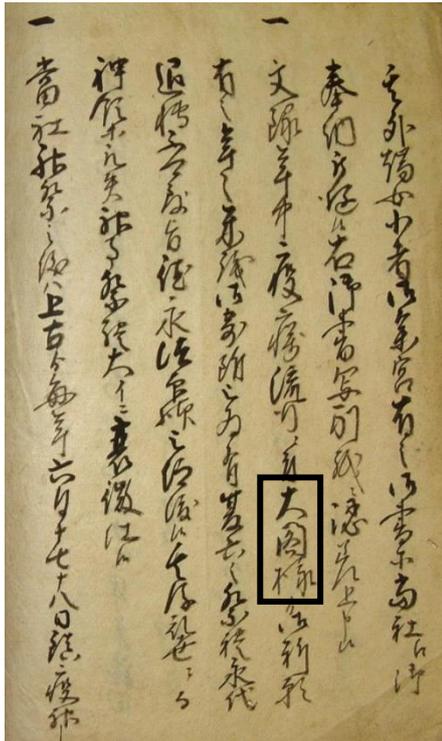
- ① 長い歴史がある須成祭には、歴史上で活躍した人たちが関わっていると伝えられています。下の写真をヒントに、次の中から 2人 えらんでください。

ア 織田信長

イ 明智光秀

ウ 豊臣秀吉

エ 徳川家康



- ② ①の人たちは須成祭をどのように行うべきかについて、発言を残したと伝えられています。次の中からえらんでください。

ア 手をめかずに、のちのちまできちんとおこなうのじゃ。

イ お金をたくさん使ってもっとはなやかにやるのじゃ。

ウ たくさんの人たちに見に来てもらうのじゃ

本当はもっともっと紹介したい須成祭ですが、これでクイズはおわりです。答えてくれたみなさんも、きっと須成祭に興味をもってくれたと思います。

ぜひみなさんも、お祭りを見に来てくださいね！